

フラワーガーデン



園芸総合センター
竹内小百合

ハナショウブの鉢植えを楽しむ

【はじめに】

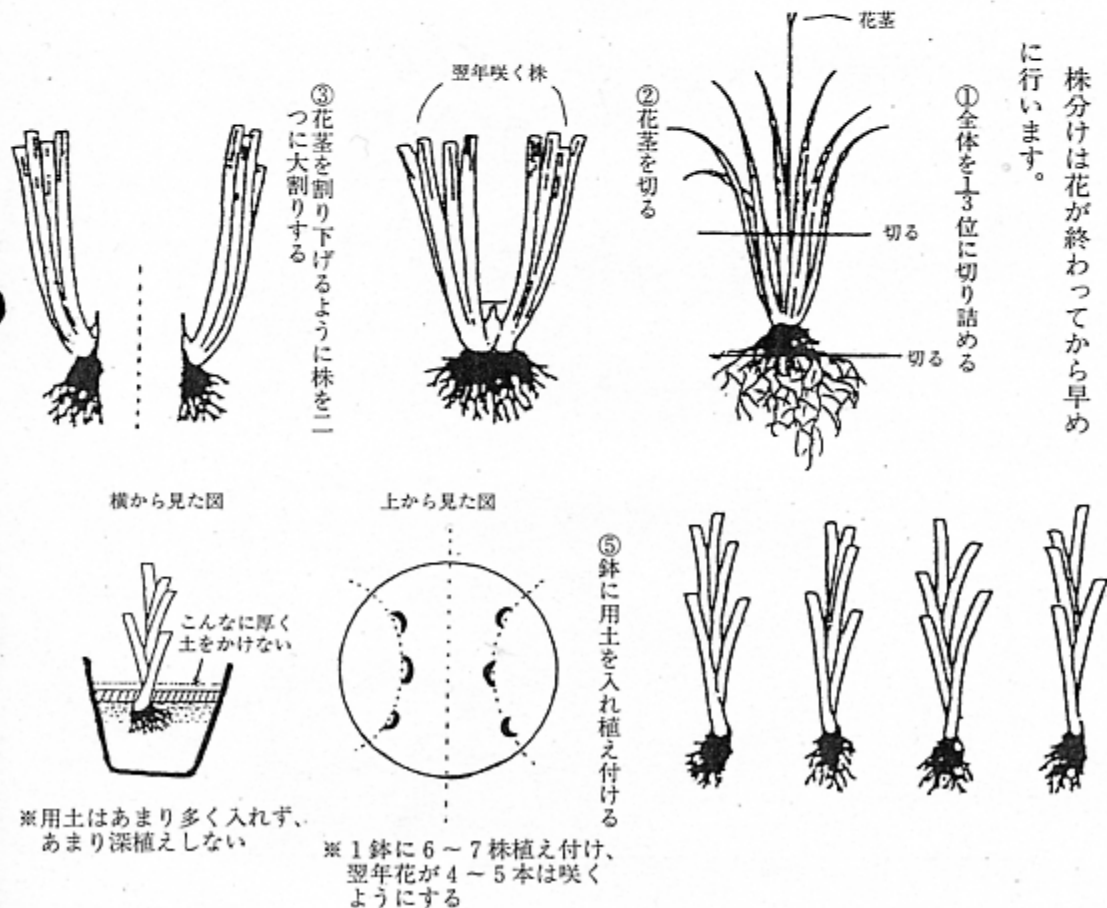
従来、ハナショウブの観賞の仕方としては庭園に群生させて総合的な美しさを楽しむのが一般的ですが、一方で花卉が幅広くゆたかりと垂れている花が豪華な伊勢系、肥後系ハナショウブを一本立ちで鉢植えし、床の間に飾って楽しむ方法もあります。鉢植えの最大の魅力は移動が可能なこと。今回はハナショウブの鉢植えでも一本立ちでなく数本植え付け、長い期間（二週間）楽しめる方法を紹介します。

【鉢と用土】

鉢…七号のポリポット
用土…ハナショウブはあまり土を選ばないので、ほかの植物を育てた後の土や庭先にある残土で水はけの良いものを用います。適当な用土がない場合は花崗土七割、砂二割、腐葉土一割を混合したものをを用います。

【株分け・植え付け方法】

株分けは花が終わってから早めに行います。



【病害虫】

スリップス、シンクイムシ。特にスリップスは花が咲かなくなるので気をつけます。

【肥料】

芽が動き出す三月頃からIB化成S₁などの肥料を月に一回、一鉢に七粒施し、週に一回液肥をやり、葉が枯れる十二月頃まで肥料が切れないようにする。

【注意点】

- ・葉がない冬季に乾かしすぎないように（花芽が飛ぶので）。
- ・水はけを良くする（水たまりでも育つが、多少乾かしながら水をどんどんやる方が好む）。
- ・品種を選ぶ（豪華できれいな品種を）。
- ・日の良く当たる場所に置く。
- ・鉢植えの場合、毎年株分けをした方がよい。

【おわりに】

美しい花が咲いたら、ポットごときれいな鉢に入れ、玄関先でも飾って楽しんで下さい。

ハナショウブ栽培管理一覧

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
株の状態	休眠期	芽出し	開花期		真夏は、やや育成がにぶる			株の充実期		休眠期		
肥料の効かせ方												
鉢植管理			春の施肥		株分け・鉢植込み		秋の施肥				枯れ葉を刈る	



▲葉がすべて枯れる12月上旬にはこのように刈っておく



▲当センターのハナショウブ、3月上旬の様子



▲美しい品種を選ぶことが大切